

210122 大分県府の収束と高知市介良について

1月20日に配信した、逆ラジオ通信 No.03W-210120 日号で 大分県府の塊状のデータが収束してきていることを以下のように載せました。

>>

逆ラジオ通信 No.03W-210120 日号：

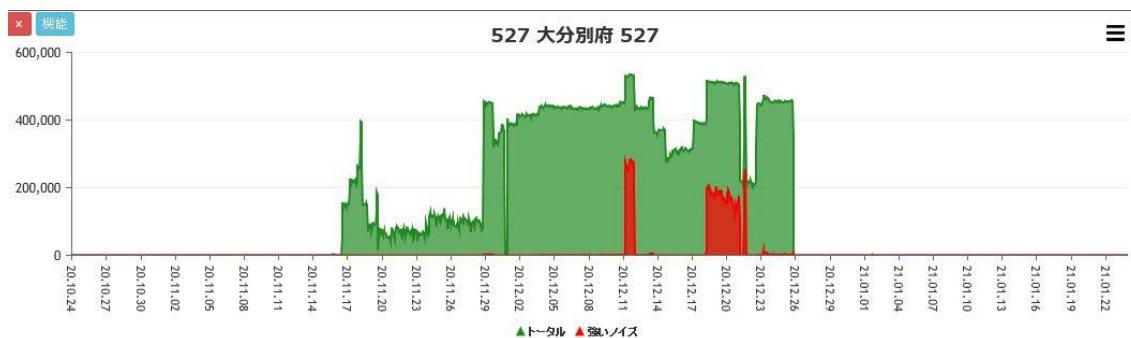
【大分県府】11/16から15万前後のかたまり状のデータが発生し 11/18には約40万、11/29には約46万、12/11には赤の強い約53万のデータが出ましたが、その後データが階段状に変化し、12/21には約528000になっています。50万を超えると赤の強いノイズが大きくなっています。そして12/26からはデータがたまに一本立ちが出るのを除き100以下と急激に小さくなっています。通常の収束とは考えにくいですが、かたまり状のデータは今まで大きな地震が発生している為、注意が必要と思われます。

>>

そして本日1月22日に 12月26日あたりから急に小さくなったノイズがいよいよ収束してきています。このため大分を中心にして半径100km位を震源とするM6クラスの地震の発生が迫っていると考えられます。またデータはいまのところ大分が単独ですが 長く続いた高知市介良のデータもなんどかのリバウンドを繰り返して収束傾向がみられることから 震源は中間の日向灘の可能性があるとされます。いままでの経験からして この塊状のデータは大きな地震につながる事が多く、十分な注意が必要です。

以下に関連のデータを載せます。

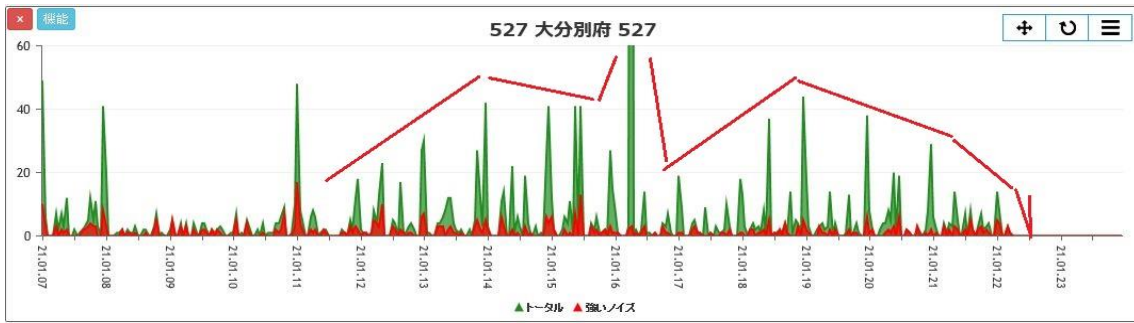
大分県府 90日間データ



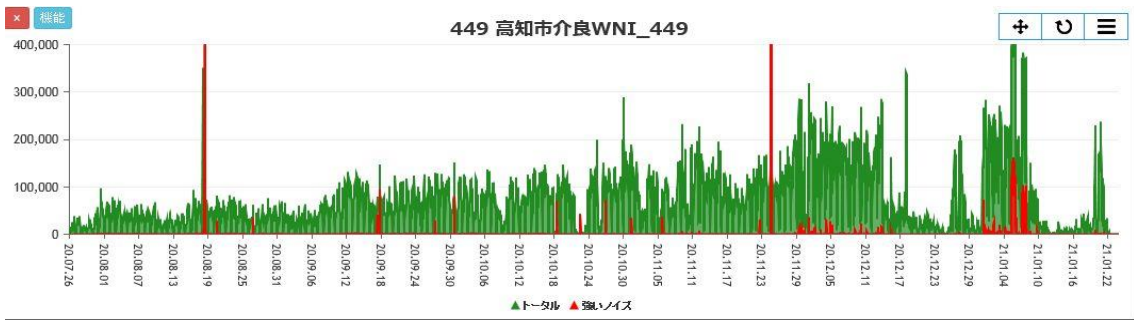
大分県府 60日間データ (拡大)



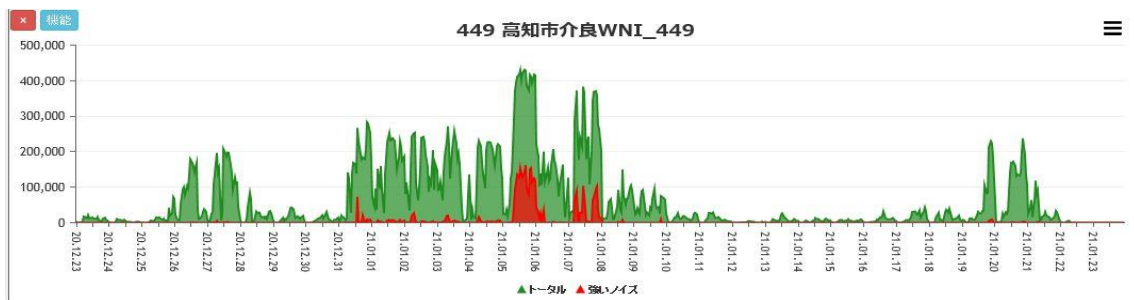
大分県府 15日間データと補助線入りデータ



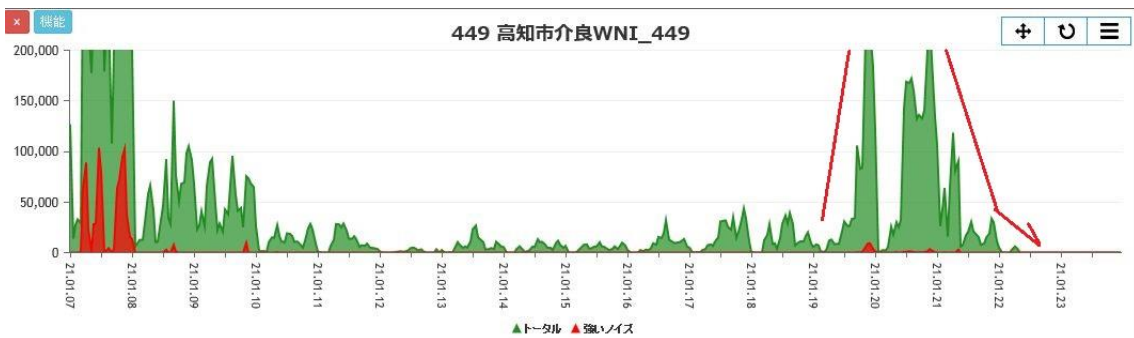
高知市介良 180 日間データ



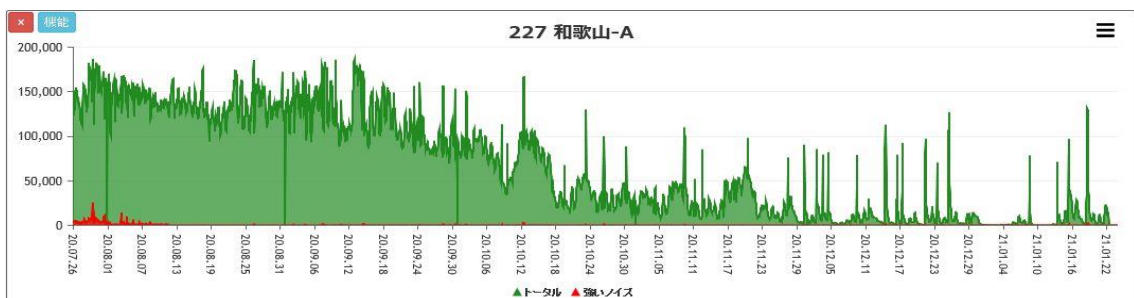
高知市介良 30 日間データ



高知市介良 15 日間データと補助線入りデータ



和歌山一A 180 日間データ



和歌山—A 30日間データ



位置関係



参考>1月17日日向灘 M3.2

